

令和6年度 西部クリーンセンターの放射性物質濃度等の測定結果

■ 焼却灰等の放射性物質ごとの濃度（単位： Bq/kg ）

Bq（ベクレル）：放射能の量を表す単位（放射線が出ている量を表す）

第1回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウムの合計
令和6年5月7日	飛灰 ^{※1} ^{※2}	不検出	53	53

※1 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※2 重金属の溶出を防ぐための薬剤処理を行っていない状態の検体を採取。

◆ 敷地境界における空間放射線量（単位： μ ^{マイクロシーベルト} S v /時）

S v（シーベルト）：人が受ける被ばく線量の単位（人が受ける放射線の量を表す）

μ （マイクロ）： 10^{-6} （100万分の1）

実施回	測定日	東側	西側	南側	北側	バック グラウンド
第1回目	令和6年4月10日	0.07	0.06	0.06	0.07	0.05
第2回目	令和6年5月8日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06
第3回目	令和6年6月12日	0.07	0.05	0.06	0.06	0.05

※ 1か月に1回の頻度で測定を実施。

※ 地表面から約1mの高さで測定を実施。